

備後版

幽玄の舞 観衆を魅了

福山で喜多流能 狂言や仕舞も

福山市光南町の喜多流大島能楽堂で二十一日、今年一回目となる喜多流定例鑑賞能が開かれ、約百五十人のファンが日本の伝統芸能を堪能した。大島家四代目・政允さ

んは、愛妾の母を思ふ氣「湯谷」で円熟の舞を披露。鬼神が現れる「野守」



今年最初の喜多流定例鑑賞能で披露された能「野守」

では、五代目・輝久さんが笛や鼓の音が響き渡る中、幽玄の舞で観衆を魅了した。

今日は、狂言「二人大名」、仕舞「難波」「笛之段」も演じられた。広島市安芸区、公務員大賀久司さん（三）は「伝統芸能ならではの何とも言え

ない雰囲気が良い。奥ゆかしさを感じます」と話していた。

定例鑑賞能は、能を普及させる目的で一九五八年から年四回開催。次回は五月七日。

問い合わせは同能楽堂（084-923-2633）。（三宅信行）